令和７年度　第１回伊勢市スポーツ推進審議会　会議録（概要）

１　日　時　　令和７年７月 11 日（金）19：00～20：30

２　場　所　　小俣総合支所３階　大研修室

３　出席者　　会　長　片山　靖富　（学識経験者）
副会長　龍田　　洋　（伊勢市スポーツ協会）
委　員　川口　京子　（伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会）
山端　正人　（伊勢市スポーツ少年団）
奥田　　守　（伊勢市レクリエーション協会）
東端　伸治　（伊勢市小学校体育部会）
野村　和広　（伊勢市中学校体育連盟
成川　真生　（伊勢市ＰＴＡ連合会）
橋本　さち子（総合型地域スポーツクラブ）
平沼　美智子（健康づくり・スポーツ女性指導者）
立花　和子　（健康づくり・スポーツ女性指導者）
豊島　久雄　（学識経験者）
事務局（伊勢市教育委員会事務局）
東浦　久修　（参事兼スポーツ課長）
長井　正文　（スポーツ課主幹兼スポーツ施設係長）
横田　和貴　（スポーツ課主幹兼スポーツ振興係長）
中東　寛喜　（スポーツ課主幹）
木下　真理　（学校教育課長）

４　会議録（概要）

１　あいさつ
伊勢市教育委員会　教育長　小林　貴法より開会のあいさつ。

２　委嘱状の交付
小林教育長より委嘱状を交付した。

３　正副会長の選出について
伊勢市スポーツ推進審議会条例第６条により、正副会長を選出した。
会長　　片山　靖富　委員
副会長　龍田　洋　　委員

４　報告事項
（１）中学校部活動の地域展開について【学校教育課、スポーツ課】
事務局からの説明の後、質疑応答を行った。

【委員】
総合型地域スポーツクラブとしての教室で中学生を交えてやっていきたいと思っている。総合型地域スポーツクラブへの説明がないが、今後、どのよ

うに進めたらよいか指導があるか。
【事務局】
　県のクラブアドバイザーと共に各クラブを訪問し、具体的な方法や受入可能な種目など相談しながら進めていきたい。具体的にどのように進めるか、話し合いの機会を持ちたい。

【委員】
　県補助金の申請をしており、バドミントンと野球を9月から始めたいと思っているが、県はOKで、市で判断が変わることはあるのか。
【事務局】
　中学生が参加している教室は補助の対象になるが、今年度の実証事業としては実施できない。来年度以降の実証事業として始める前に、総合型地域スポーツクラブで中学生を受け入れて、課題の把握や実施方法を検討してから進めていくと、スムーズに展開できると思う。

【委員】
　保護者から部活動地域展開や総合型地域スポーツクラブについての説明を求められることがあるので、どのように説明したらよいか不安がある。

【委員】
　陸上競技は拠点校方式で展開し、教員は地域の指導者として参加する。不安はあるが、スタートして課題等を整理していく。
　日本の部活動は学校を中心に活動してきたので、地域移行するには難しいところ、検討が必要なところがあると思う。

【委員】
　指導者資格をどうするかという話があったが、何か検討しているか。
【事務局】
　他県の事例では、資格を必須としているところ、資格の有無に関わらず指導者を確保しているところ、市の講習を受講することを必須としているところ、いろいろなケースがある。
　地域展開をするクラブ団体に、緊急連絡体制や怪我の対応などのガイドラインやマニュアルを整えていきたい。
　指導者も生徒も、安全・安心な体制づくりを進めていきたい。

【委員】
　今はモデルケースということだが、足並みを揃えて地域展開するのは難しい気がする。どういう形で進めていくかが決まり次第、総合型地域スポーツクラブに展開していくということではないか。
【事務局】
　時期を決めて一斉に展開すると決めている訳ではなく、実証事業を通して受入団体や競技を増やしながら進めていこうとしている。
　例えば、総合型クラブアドバイザーの訪問活動で部活動地域展開の話になると思うが、指導者の確保ができるできないとか、現状を聞かせていただきながら進めていきたい。

【委員】
　マニュアルを作っている状態だと思うが、成功事例を参考に市がマニュアルを作れば展開できると思うが、各団体で違うやり方では、子供たちも戸惑いがあると思う。
　いろいろな団体との面談・ヒアリングをして、伊勢市が決めて進めていくのであれば、地域展開する時期の目途を持っているかを聞きたい。細かい事は始まってから決めてもいいと思う。
【事務局】
　地域展開の時期はそれぞれあるが、今決まっていることは令和 13 年度に全ての休日部活動の地域移行を目指している。

【委員】
　競技によって協会が受け入れる、総合型に加入するなど違うやり方で展開していくと、小学校 6 年生の子が中学校に上がる時に指導者としても対応が難しい。
【事務局】
　実証事業が始まった 1 年目なので具体的な話は難しいが、他の自治体も対応は様々で、まだ動いていない自治体もあるのが実情。
　四日市市のように、スポーツ協会の競技団体と総合型の混合で展開の形を作っていこうとしている自治体もあれば、長岡市のようにスポーツ協会を中心にまとめている自治体もある。
　今の段階で伊勢市の方向を決めるのは難しい中で、令和 13 年度までに休日部活動を地域展開していくという国の方針があるので、実証事業を通じて整理し、個別にも相談させていただきながら、ルール作りをしていきたい。

【事務局】
　本日は、担当職員が準備を進めている中で見えてきたことを提示したということで、地域展開の具体的な方向性をお示しできる状態ではないことをご理解いただきたい。

【委員】
　中学生が総合型スポーツクラブの会員になる、学校の先生が地域指導者として参加するということになると、総合型の活動が大きなものになる。
　先生は教員ではなく学校から切り離した形でクラブ活動に参加する、ということになると、ケガなどの事故があった時に、学校は立ち入らず、総合型として責任を負う必要が生じるということなので、保険などの体制も整えていかなければならない。
【事務局】
　部活動ではない地域での活動となるので、安全保険に加入して保障したり、総合型や競技団体が責任をもって活動できるように、実証事業を通じて、また他市の情報も収集しながら、ガイドラインを作る等の対応をしていきたい。

５　協議事項

（１）第３期伊勢市スポーツ推進計画の令和６年度取組結果及び令和７年度実施計画について

事務局からの説明の後、質疑応答を行った。

【委員】

資料では参加者の総数が記載されているものが多いが、年齢別など、ターゲットにしたい層がどれだけ参加しているか、もう少し細かなデータがあると今後の方針を考える上で参考になると思う。

インクルーシブスポーツに障がい者が何人参加しているとか、複数回開催しているイベントに新規の参加者が何人いるとか、広域で募集したイベントに市民がどのくらい参加しているとか。

【事務局】

総合型の年齢別会員数等の資料を添付しているが、マラソンの県外・市外の割合、年齢別、国外の参加を集計していたり、ボッチャ交流大会の市内・市外の人数など、既存の資料があるものは後日、委員の皆様に配付したい。

また、次回の会議からは内訳の資料も提供していきたい。

（２）第３次伊勢市総合計画　後期基本計画の策定に係る意見照会について

事務局からの説明の後、質疑応答を行った。

【事務局】

意見照会の通知を送付する際に、（１）でご意見のあった参加者の年齢別等の資料も同封して郵送するので、資料も参考にしていただきながらご意見をいただきたい。

６　その他

特に発言はなかった。

以上